

2 研究の実際

授業実践について

(5) 授業実践について【平成26年度特命研究】

授業を実践する前にチェックシートを基にしながら、授業者が意識している「ユニバーサルデザイン」の4つの視点の支援の傾向と学級に在籍する児童生徒の実態を把握しました。そして、チェックシートの結果より、これまでの授業であまり意識していなかった視点の支援や、実践する授業で意識したい支援、つまり予想される児童生徒に対して必要な支援を考え、それらの支援を取り入れた授業を実践しました。

授業実践の見方

1 単元の目標

2 指導計画（全○時間）

3 本時の目標

4 「ユニバーサルデザイン」の視点に応じた支援を取り入れた本時の授業

本時の学習は、1年生に運動会について・・・

本学級の児童は、5月の単元で・・・・・・・・

これまでの授業づくりの傾向を・・・・・・・・

○意識して取り入れる視点に応じた支援

【組立ての工夫】

- ・授業の導入で・・・

本時の学習のねらいを示しました。また、学級の様子や予想される児童生徒の実態を示しました。予想される児童生徒への支援だけでなく、チェックシートの結果より、授業者がこれまでにあまり意識していなかった支援や授業において意識したい支援を示しました。

チェックシートの結果をレーダーチャートで示しました。これを基に、特にポイントが低い視点について、支援を考えました。

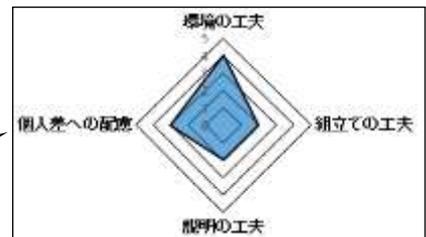


図 これまでの授業づくりの傾向

「ユニバーサルデザイン」の4つの視点の中で、どの視点を取り入れたのかを示しました。個人差への配慮は、他の視点と区別するために○で示しました。

5 授業の実際 (環 環境の工夫 組 組立ての工夫 説 説明の工夫 ○ 個人差への配慮)

学習活動	「ユニバーサルデザイン」の視点に応じた支援	取組の様子
<p>[授業前]</p> <p>授業を行う前に取り入れた支援を示しました。</p>	<p>環 すぐに話合いができるように、1年生に説明したい競技別に分かれたグループごとに机を移動させておくというルールを決めておく。</p>	<p>取り入れた支援によって、児童生徒がどのような様子であったのかを示しました。また、授業者の気づきや手応えも示しました。</p>
<p>1 前時までに学習した話合いの仕方を振り返り、本時の学習内容を知る。</p>	<p>説 前時までの学習を振り返ることができるように、児童が使用するワークシートや付箋を拡大したものを提示しながら説明する。</p>	<p>どんな勉強をしていたか思い出してきたわ。付箋を使いながら話合いをしたんだよね。</p>

取り入れた支援や児童生徒の様子を画像で示しました。



チェックシートを活用し、「ユニバーサルデザイン」の視点に応じた支援を取り入れた授業実践の成果と課題を示しました。

6 本時の成果と課題

(1) 成果

○チェックシートの結果より「説明の工夫」のポイントが低かったため、学習の進め方を説明する際に、児童が使用するワークシートや付箋を拡大したものを提示した。児童は、自分のワークシートと見比べながら聞くことのできたため、話合いのときに気を付けることを意識しながら、学習を進めることができた。

(2) 課題

○児童が使用するワークシートや付箋を拡大して黒板に掲示したことで、スペースが限られてしまい、児童の発言を十分に板書することができなかった。児童が分かりにくい部分がどこなのかを検討して掲示する必要がある。また、電子黒板と黒板を使い分けることで、板書するスペースを確保することも考えていきたい。

授業者が意識して取り入れた支援が児童生徒に有効であったかを把握するために実施したアンケートの結果を示しました。

◇児童アンケートの結果

視点	質問項目		
環 組	今日の授業は分かりやすかった。	24	6
	話し合うときは、机を向かい合わせにするというルールがあったので、話合いがしやすかった。	27	3
	今日の授業の流れが黒板に示してあったので、学習することが分かりやすかった。	19	11

児童生徒アンケートの自由記述の中から、授業者が意識して取り入れた支援について記述したものを記載しています。

- グループで集まったので話合いがしやすかった。
- 見通しカードが黒板に貼ってあったので、分かりやすかった。
- 付箋に意見を書いていたので、意見を発表しやすかった。
- 黒板に拡大したワークシートが貼ってあったので、分かりやすかった。
- 1年生に早く教えたいので、勉強が役に立った。
- ◎話合いは少し苦手だけど、意見を付箋に書けたのでよかった。
- ◎難しい内容は先生がヒントを教えてくれたのでよかった。

授業の実際で取り入れた具体的な支援と取組の様子を、それぞれの視点ごとに示しました。

◇具体的な支援と取組の様子

<p>環境の工夫</p>	<p>司会の進行の仕方等、話し合いをするときのルールを示す</p>
<p>支援の意図</p>	<p>司会カードを準備し、進行の仕方等のルールを示すことで、児童が司会や提案等の役割を理解して、進行に沿って話し合うことができるようにする。</p>
	<p>取組の様子</p> <p>これまでの学習では、特定の児童ばかりが話し合いを進めてしまったり、話し合う内容からそれてしまったりする場面が見られた。</p> <p>そこで、進行の仕方を示した司会カードを各グループに準備し、司会の役割を明確に示したことで、話し合う内容からそれることなく、話し合いに取り組むことができた。司会を担当した児童は、司会カードを見ながら進行の仕方等のルールを確認し、自信をもって進行をすることができた。</p> <p>児童アンケートには、司会を担当した児童が、「司会カードがあったため、話し合いを進めやすかった」と記述していた。また、「司会が上手にまとめてくれて、賛成や反対をしっかりと言えた」と記述した児童もいた。</p>

チェックシートを活用した授業を、小学校2校、中学校2校、高等学校1校で実践しました。これらの実践を参考にして、授業づくりに活用してください。

